

長が首長や教育委員に情報を積極的に提供し、共通認識を図るなかで、町の現状に合わせた教育施策を作り上げていくことだと考えています。

町活性化の方策は

藤元議員

町長本人も認めているように、目立った成果は上げることがまだ出来ておりません。ただ、住民グループの活動が活発になったり、再生会議でのまとめは評価できることであり、この流れを大きくすることが大切だと思います。どのようなプランを描いているのか。

福井町長

活性化メニューを実行するためには、それぞれの地域や分野で主導していく方が必要です。今年度中に物産館を旧河内小学校に移転し、牟岐町活性化の核としての役割を担っていた

きたいと考えている。そのためにも、民俗資料館の管理も合わせ指定管理として町内外の団体に委託し、交流人口が増加するような営業ができるよう努めていきたい。

安全衛生委員会の活動強化を

藤元議員

今年、偶然かもしれないが、相次いで職員2名が負傷しました。間違えれば命を落としかもしれない事故でした。今後の対策は。

福井町長

急ぎよ、職場点検やヒアリングハット事例等のアンケート調査を実施、その結果を基に今後の対策や注意事項を指示いたしました。

大森副町長

町職員の公務災害認定数は、平成15年度から19年度は3件、20年度から24年度は13件、本年度は、現在ま

で2件発生しています。また、ここ数年、体調を崩す職員が増えています。本町では、職員安全衛生委員会を設置し、毎月第3木曜日に開催しています。7月の事故後、危険な個所、仕事内容について洗い

健康管理センターのその後の公募、セールズ状況や感触は

横尾 政明 議員

再生会議上で「保養と健康の町」として取組むなかで、町にとって温泉施設は欠かせないものです。町ホームページの案内では事務的すぎであり、もっと施設をPRしていくべき内容に変更し、問い合わせがくるものになればならないと考えます。

福井町長

前回の定例会でトップセールスをしてはどうか、と質問しましたが、その後の進展についてはどうなのか。健康管理センターのその

出しを行い、毎週行っている課長会の中で周知し、改善を図っています。作業前の点検や声掛け、また、自身の健康管理に気を付けて漫然と仕事に携わるのではなく、緊張感を持ってあた

観光物産館の移転は確定なのか

現時点では、維持管理費や他施設の有効利用なども考えますと、旧河内小学校校舎に移転し、民俗資料館等の管理も含め、指定管理委託するのが最も適切な

福井町長

後の状況は、現公募の実施要領が現状に合わなくなっており至急訂正したい。公募、セールズは5社に行いましたが、反応はありません。ただ、他県で関心を示されている会社があり、調査に来ると聞いておりますので少し期待しています。しばらくは現在の取組みを今後とも継続したい。

横尾議員



牟岐町物産館 千年サンゴの里